

日中経済交流研究会10月例会

無料

例会 概要

日時 令和 2年 10月 8日 (木) 18:30より (受付開始18:00)

実施場所 **道頓堀ホテル** ※定員 100名
大阪市中央区道頓堀2-3-25 (200名が入る会場で余裕を持って実施します)
【※新型コロナウイルス感染の状況によっては、オンライン (ZOOM) にて実施】

絶好調からどん底へ、そこから見えたもの ～コロナ禍での道頓堀ホテルの取り組み～

報告者



橋本 明元 氏 道頓堀ホテルグループ 専務取締役

豊中市出身、1998年同志社大学法学部法律学科卒業。1970年に開業した「道頓堀ホテル」を「日本と世界の架け橋に」という使命を元に、「外国人に日本を好きになって頂けるホテル」を目指し様々な活動を行う。現在は 道頓堀ホテル、THE BRIDGE HOTEL 心斎橋、大阪逸の彩(ひので)ホテルの3店舗を運営。2020年の12月、沖縄の牧志にも開業を予定している。業界常識にとらわれない「おもてなし」と社員のやる気が、お客さまの感動を生み出し、連日多くの外国人観光客で賑わうホテルとなる。自社の使命を明確にし、社員一人ひとりと価値観を共有することに努め、創業以来、脈々と流れる「おもてなしの想い」が浸透した結果、今では運営されている3ホテル全てが 世界のお客さまの「あったらいいな」を実現するホテルとして広く世界に知られるようになる。その取り組みが注目され、関西経営品質協議会「関西経営品質賞ゴールド賞 (2017年度)」、経産省「おもてなし経営企業選 (2013)」、等多くの賞を受賞している。

【報告のポイント】

外国人観光客の来日ラッシュにより空前のインバウンド景気に沸いた日本。関西の表玄関「大阪ミナミ」に位置する道頓堀ホテルは中国人や韓国人を中心とするインバウンド客に焦点を当てた戦略が大当たりし、過去最高益を重ねます。しかし降ってわいたコロナ禍で事態は一変します。外国人旅行者がパタリと途絶え、さらに宴会予約が軒並みキャンセル。売り上げゼロの日々が続きます。ホテルには100人以上の正社員、そして多くのアルバイトの生活がかかっている。毎月数千万円のキャッシュアウト。この急転直下の苦境にどう立ち向かい、何を考え、そして実践しているのか。同ホテルのインバウンド戦略を引っ張ってきた橋本明元専務 (45) に現在進行形の取り組みをお話していただきます。まさに今こそ聴くべき経営者の魂の報告です。

懇親会

同会場にて20:30より実施 (現地開催の場合)
ウイルス感染予防に配慮し、大きな会場で空間を広く取り実施します。
研究会会員: 3,000円、非会員 4,500円 ※オンライン開催の場合は懇親会はありません

お申込みはe.doyu または FAXにて **FAX:06-6941-8352**

会員名	支部名	申し込み日
会社名	メールアドレス	

該当する箇所
に✓を入れて
ください。

研究会へ入会を希望 例会の参加を希望 懇親会への参加を希望